

点頭てんかん(ウエスト症候群)とダウン症のある子ども

点頭てんかんの早期発見には、何を見るべきかを知っておくことが大切です。点頭てんかんはてんかんの一種であり、ダウン症のある子どもの8～10パーセントに起こります。点頭てんかんは早期に発見されればされるほど、予後が良くなります。

点頭てんかんとは何ですか？

- 点頭てんかんは、生後5～10カ月のダウン症のある子どもに起こるてんかんの一種です。
- すべての保護者の方に、UK Infantile Spasm Trustによるビデオと、ブログ「Noah's Dad」をご覧になることをおすすめします。
 - UK Infantile Spasm Trust: <https://ukinfantilespasmtrust.org/>
 - Noah's Dad: <https://noahsdad.com/infantilespasms/>

徴候と症状

けいれんは群発する傾向があり、1日に数回の群発発作が見られます。起床後や昼寝の後に最もよく起こります。点頭てんかんを起こすと、体を急に折りたたむような姿勢となるため「ジャックナイフ型の発作」と呼ばれることがあります。いくつかの徴候は以下の通りです。

- しかめつ面になり、時に数秒続く。静かになる。
- 背中を丸めたり、手足を硬直させたりする。
- 頭、胴体、腕、脚を含む体の急激な動きが1～2秒の間続く。
- 発達のおくれ、あるいは退行が見られる（例：ハイハイ、運動能力、発語など）。

点頭てんかんはどのように診断されるのでしょうか？

診断は、小児神経科医が行います。あなたの話を聞き、子どもを診察します。また、脳波検査（EEG）も行います。これは、脳の電気的活動を測定するものです。「ヒプサリズミア」と呼ばれる特定の脳波が、点頭てんかんの診断に役立つことがあります。

診断を容易にするためのヒント

可能であれば、症状を動画で撮ってそれを持参してください。そうすることで、医師が診断しやすくなります。

点頭てんかんはどのように治療するのですか？

点頭てんかんの疑いがある場合は、受診し緊急に診断してもらいましょう。点頭てんかんの治療法はたくさんあります。発作の原因によって、より効果的なものとそうでないものがあります。あなたの子どもに応じた治療を行います。一般的な治療法として薬物療法と食事内容の変更があります。



佑 -YOU-

マサチューセッツ総合小児病院の許可のもと、「佑」（代表：植田紀美子 関西大学 / はしもとクリニック）が翻訳し和泉出版印刷株式会社が作成しました。日本語訳についてのお問い合わせ info@you-3c.com